



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年7月29日

上場会社名 株式会社ファンデリー 上場取引所 東
 コード番号 3137 URL http://www.fundely.co.jp/
 代表者 (役職名)代表取締役 (氏名)阿部 公祐
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員 経理部長 (氏名)杉田 雅治 (TEL)03(6741)5880
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	777	18.0	115	9.9	121	29.9	77	25.9
28年3月期第1四半期	658	—	105	—	93	—	61	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	12.13	11.94
28年3月期第1四半期	10.12	9.88

- (注) 1. 当社は、平成27年3月期第1四半期においては、四半期財務諸表を作成していないため、平成28年3月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。
 2. 当社は、平成27年6月25日付で東京証券取引所マザーズ市場に上場しているため、平成28年3月期第1四半期累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額は、新規上場日から平成28年3月期第1四半期会計期間末までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第1四半期	1,859	1,541	82.9
28年3月期	1,859	1,460	78.5

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 1,541百万円 28年3月期 1,460百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,656	26.8	244	37.5	244	40.9	149	28.3	23.52
通期	3,466	15.0	567	13.3	557	11.4	340	8.8	53.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

29年3月期1Q	6,360,000株	28年3月期	6,325,500株
29年3月期1Q	—株	28年3月期	—株
29年3月期1Q	6,351,192株	28年3月期1Q	6,048,577株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、海外経済の減速や急速に進んだ円高の影響により先行きの不透明な状況が続くものの、政府・日銀の政策により緩やかな回復基調で推移しました。また、雇用・所得情勢についても改善傾向にありますが、消費者物価は前年を下回り、個人消費も弱含みで推移していることから、今後の見通しについては引き続き楽観視できない状況であります。

このような状況下、当社におきましてはMFD事業において、定期購入サービスである「栄養士おまかせ定期便」の利用者拡大及び健康食通販カタログ『ミールタイム』及び『ミールタイム ファーマ』の紹介ネットワーク拡大を軸に推し進め、新規・定期購入顧客数の拡大に努めました。

マーケティング事業においては、健康食通販カタログ『ミールタイム』及び『ミールタイム ファーマ』の2誌に掲載する広告枠の販売が順調に推移しました。また、健康食通販カタログ『ミールタイム』の紹介ネットワークを活用した業務受託についても、新規クライアントの開拓や既存クライアントからの複数案件の獲得により順調に推移しました。

以上の結果、当第1四半期累計期間の売上高は777,155千円(前年同四半期比18.0%増)、営業利益は115,719千円(同9.9%増)、経常利益は121,554千円(同29.9%増)、四半期純利益は77,068千円(同25.9%増)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① MFD事業

当セグメントにおきましては、四季ごとに実施している商品入れ替えに伴う新商品の開発、また、当社の管理栄養士・栄養士が顧客の疾病、制限数値、嗜好に合わせて食事を選び定期購入できるサービス「栄養士おまかせ定期便」への積極的な移行を中心として販売に注力した結果、MFD事業における売上高は730,140千円(前年同四半期比19.4%増)、セグメント利益(営業利益)は155,249千円(同21.4%増)となりました。

② マーケティング事業

当セグメントにおきましては、健康食通販カタログ『ミールタイム』及び『ミールタイム ファーマ』の2誌による広告枠の販売、また、紹介ネットワークを活用した業務受託において複数の案件を獲得した結果、売上高は47,014千円(前年同四半期比0.1%増)、セグメント利益(営業利益)は35,052千円(同3.6%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 総資産

当第1四半期会計期間末における総資産は前事業年度末より71千円減少し、1,859,218千円となりました。これは主に、現金及び預金の増加48,771千円があった一方、売掛金の減少46,818千円、商品の減少1,133千円、投資その他の資産の減少1,427千円によるものであります。

② 負債

当第1四半期会計期間末における負債は前事業年度末より81,763千円減少し、317,340千円となりました。これは主に、買掛金の減少13,298千円、未払法人税等の減少65,739千円によるものであります。

③ 純資産

当第1四半期会計期間末における純資産は前事業年度末より81,691千円増加し、1,541,877千円となりました。これは主に、資本金及び資本剰余金の増加がそれぞれ2,311千円、利益剰余金の増加77,068千円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の業績予想につきましては、当第1四半期累計期間の業績及び今後の見通しを検討した結果、現時点においては平成28年5月10日付「平成28年3月期 決算短信」にて発表いたしました業績予想からの変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第1四半期会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得する建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第1四半期累計期間において、四半期財務諸表への影響額はありません。

3. 四半期財務諸表
(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,317,865	1,366,636
売掛金	165,493	118,675
商品	249,428	248,294
仕掛品	274	1,803
貯蔵品	1,077	750
その他	59,956	60,999
貸倒引当金	△147	△84
流動資産合計	1,793,948	1,797,075
固定資産		
有形固定資産	10,435	9,668
無形固定資産	9,437	8,432
投資その他の資産	45,468	44,041
固定資産合計	65,341	62,142
資産合計	1,859,289	1,859,218
負債の部		
流動負債		
買掛金	114,474	101,176
未払法人税等	112,420	46,680
賞与引当金	18,248	11,183
その他	146,286	150,608
流動負債合計	391,430	309,649
固定負債		
資産除去債務	7,673	7,691
固定負債合計	7,673	7,691
負債合計	399,104	317,340
純資産の部		
株主資本		
資本金	271,020	273,331
資本剰余金	221,020	223,331
利益剰余金	968,145	1,045,214
株主資本合計	1,460,185	1,541,877
純資産合計	1,460,185	1,541,877
負債純資産合計	1,859,289	1,859,218

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	658,448	777,155
売上原価	279,540	337,128
売上総利益	378,907	440,026
販売費及び一般管理費	273,630	324,307
営業利益	105,277	115,719
営業外収益		
受取手数料	123	111
保険解約返戻金	—	1,218
受取返戻金	—	4,500
その他	60	4
営業外収益合計	183	5,834
営業外費用		
支払利息	13	—
株式公開費用	11,905	—
営業外費用合計	11,919	—
経常利益	93,540	121,554
税引前四半期純利益	93,540	121,554
法人税等	32,310	44,485
四半期純利益	61,229	77,068

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期損益 計算書計上額 (注) 2
	MFD	マーケ ティング	計			
売上高						
外部顧客への売上高	611,489	46,959	658,448	658,448	—	658,448
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	611,489	46,959	658,448	658,448	—	658,448
セグメント利益	127,846	33,825	161,672	161,672	△56,395	105,277

(注) 1. セグメント利益の調整額は全社費用△56,395千円であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期損益 計算書計上額 (注) 2
	MFD	マーケ ティング	計			
売上高						
外部顧客への売上高	730,140	47,014	777,155	777,155	—	777,155
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	730,140	47,014	777,155	777,155	—	777,155
セグメント利益	155,249	35,052	190,301	190,301	△74,581	115,719

(注) 1. セグメント利益の調整額は全社費用△74,581千円であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。